

2020年7月27日  
株式会社東陽テクニカ

## 大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」に搭載の 高速データ書き込み技術で米国特許を取得 100ギガビットイーサネットのフルキャプチャを支えるコア技術

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝)は、100ギガビットイーサネット(以下100G)でも全てのパケットをロスせず連続してキャプチャできる大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS(シネシス)」に搭載しているコア技術“データ書き込み装置及び方法”について、2020年3月に米国での特許を取得したことをお知らせいたします(米国特許番号：US 10,585,622)。

同技術は2018年9月に日本において特許を取得しており、それに続く米国での特許取得となります。これにより「SYNESIS」の世界展開を加速させると共に、今後も高速大容量化が進むネットワークにおける速やかな障害解析と、高品質ネットワークの実現に貢献してまいります。

### 【特許概要】

米国特許番号：US 10,585,622 発明の名称：「Data writing device and method」  
(日本での特許：特許第6377304号 発明の名称：「データ書き込み装置及び方法」)

キャプチャしたパケットデータを記憶装置に書き込んで保存する際に、別装置を用いず、ソフトウェアで「並列書き込み」と「ロードバランス」を実行して、取得したデータを複数の内部記憶装置へ書き込むプロセスをコントロールする技術です。処理が重なるなどしてシステムに負荷がかかった際に、データ書き込み性能が低下して記録漏れが発生する問題を解決し、100%のキャプチャを可能にしました。

「並列書き込み」とは、個々の記憶装置毎に書き込み処理を並列化して実行することであり、「ロードバランス」はある記憶装置で書き込み性能が低下した際に、書き込み性能が高い記憶装置を選んで次のデータを割り振る処理を言います。



大容量パケットキャプチャ/解析システム  
「SYNESIS」ポータブル型・100Gモデル

当技術の開発によって、自社開発製品の大容量パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」は、100Gでも全てのパケットを長期間ロスすることなくキャプチャし続けることに世界で初めて※1成功しました。2015年6月に販売を開始し、日本以外でも米国を始め東南アジア、ヨーロッパ、オセアニアなどの複数の国で導入の実績があります。その技術の独自性が認められ、2018年9月の日本での特許取得に続き、2020年3月に米国での特許取得が実現しました。 ※1 2020年7月東陽テクニカ調べ



★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ ワン・テクノロジーズ・カンパニー

TEL : 03-3245-1144(直通) E-mail : [synesis-sales@toyo.co.jp](mailto:synesis-sales@toyo.co.jp)

「SYNESIS」ポータルサイト : <https://www.synesis.tech/>

「SYNESIS」紹介動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=P4mybA60nGo>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。